

会議録【全文筆記】

会議名称	第9回（令和7年度第4回）米沢市総合計画審議会	
開催日時	令和7年11月6日（木）午前9時30分～午前10時45分	
開催場所	庁議室	
出席者	(委員等氏名)	(所属団体等)
	会長 野々村美宗	山形大学工学部 副学部長
	会長代理 田中明子	米沢商工会議所 理事・事務局長
	委員 伊藤優子	株式会社ニューメディア 前取締役米沢センター長
	委員 岩崎令子	米沢観光コンベンション協会 副会長
	委員 大和田浩子	山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長
	委員 加藤公一	米沢市芸術文化協会 副会長
	委員 川野敬太郎	米沢青年会議所 理事長
	委員 川村麻耶	団体職員
	委員 栗原裕俊	米沢市内高等学校校長会 会長
	委員 小関洋子	米沢市青少年育成市民会議 副会長
	委員 小山克成	米沢市小中学校校長会
	委員 須貝容子	米沢市保育会 前副会長
	委員 清野雅好	米沢市社会福祉協議会 地域支援課長
	委員 土田良雄	米沢市スポーツ協会 会長
	委員 平山博志	山形県自主防災アドバイザー
	委員 松田智博	米沢市商店街連盟 理事長
欠席者	委員 斎藤美綺	株式会社 nitorito 取締役 デザイナー
	委員 島倉邦広	米沢市電子機器機械工業振興協議会 会長
	委員 佐々木隆行	JA 山形おきたま米沢地区青年部 前委員長
	委員 我妻康次	米沢市コミュニティセンター館長会 前会長
事務局	市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、政策企画課長、政策企画課長補佐兼兼総合計画策定室長、政策企画課上席専門員、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、政策企画課主事	
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1)パブリック・コメント等の結果について 4 委員の皆様からの感想 5 答申 (1)答申 (2)市長あいさつ 6 閉会	
会議資料	(1) 次第 (2) 名簿 (3) 米沢市まちづくり総合計画（案）に対するパブリック・コメントへの回答について 資料 1-1 (4) 米沢市まちづくり総合計画（案）に対する議会への回答について 資料 1-2 (5) 米沢市まちづくり総合計画（案）に対する総合計画審議会委員の意見への回答について 資料 1-3	

	米沢市まちづくり総合計画（案）……………資料 2
	会議内容
【1 開会】	
省略	
【2 会長あいさつ】	
皆さんおはようございます。寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。第9回ということで、本日の審議会で一区切りと伺っております。本日は皆様の御意見を基に、実施されましたパブリック・コメントの結果について議論させていただいた後、最後に市長に答申を行うということでございます。本日もよろしくお願ひいたします。	
【3 議事】	
(1) パブリック・コメント等の結果について (資料1～2に基づき説明)	
委員	13 ページで下に枠組があります。その枠組の中の文章が途中で終わっています。
事務局 会長	御指摘のとおり、文章が途中で切れしておりました。後ほど修正させていただきたいと思います。
	他にいかがでしょうか。それではこちらの案を市長に答申するということにさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。
	皆様から同意をいただいたということで、こちらの案を提出するということにさせていただきます。
【4 委員の皆様からの感想】	
委員	まずは多くの市民の意見を吸い上げていただき、集約して苦労があったと思います。今後ですけども、総合計画を実行に移していくというフェーズに移っていかれると思うのですけども、決して市役所任せではいけないと思っておりますので、市内の企業の皆さんもそうですし、一般市民もそうですけども、官民一体となって実行に移していくことが大事なのではないかと思っているところですので、そのためにも、今後計画の内容をどうやって周知していくか、市民の皆さんにどうやって理解いただくかというところが大事になってくると思いますので、様々な媒体を使っていただいて、若い方から高齢者の方まで広く内容が行き届くように知恵を絞っていただければと思っているところです。ありがとうございました。
委員	11月3日に台湾から帰ってまいりまして、市長にも踊っていただいてありがとうございました。こちらにも台湾の方がいらっしゃって、その時にもとにかく滞在をしていただきたいということが観光で最も大切なことだな、米沢市にお金を落としていただきたいという思いでいっぱいです。上杉神社も整備するところを整備してもらって綺麗になっていくことが夢で、観光で盛り上げていきたい、米沢市を盛り上げていきたいということが計画に集約されており、今後楽しみにしていきたいと思っております。小野川に行った時にまずもって廃墟のところを何とかできないものかと思うところであります。それから、上杉神社に行った時に安全性も気になりますし、道の駅では防災なども含めて集約されていることが大切だと思っております。今後を見据えて計画にまとめてあるので、これを活かしていくよう私も微力ながらともに頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

委員

今日は総合計画審議会委員として参加させていただきまして、ありがとうございました。市の未来を見据えた計画に関わることができまして、貴重な経験となりました。特に、私としましては健康づくりの推進の箇所で、適切な食塩摂取に加えて、カリウム摂取に関する周知啓発の取組も入れていただき良かったと思っております。今後は健康づくりだけでなく、地域の食材や食品残渣を活かした学生考案の商品開発など、産業の領域でも連携を図っていければと思っております。米沢市では健康長寿日本一を目指しておりますが、実現に向けて今後も大学として協力できればと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

委員

まずは事務局の皆さんにこれまでの業務に対し感謝申し上げます。審議会委員として出席させていただきましたけれども、改めて委員の皆様、あるいは市担当者の意見をお聞きして、いろいろと学ばせていただきました。今回、パブリック・コメント、或いは皆様の意見を読ませていただきましたけれども、率直な感想としては様々な考え方があるということを実感したところです。厳しい意見もあったようですが、皆様それぞれの立場からではありますけれども、より良い米沢にしたいという強い思いが感じられました。私は主に芸術分野とか教育関係で意見を述べさせていただきましたけれども、どちらも社会生活を営んでいく上では重要なテーマだと思っています。米沢市の課題というのはありますけれども、総合計画は今の時代にフィットした、全体的に大事なところを網羅した分かりやすい計画になったのではないかと思います。大事なことは皆様おっしゃいましたけれども、絵に描いた餅で終わらせることがないように、私たち市民一人ひとりが意識して生活していくことだと思います。私は退職して6年目になりますけれども、委員を務めたこともあって、改めて生まれ育った米沢をじっくり見直した機会になりました。豊かな歴史と文化の素晴らしい米沢だと思います。これからも暮らしやすいまちづくりを目指して、一市民としてこの計画が広く知れ渡るよう、今の若者たちにもアピールしていく努力をしていかないといけないと思っているところです。ありがとうございました。

委員

総合計画を策定するにあたって、様々な意見を皆様からお聞きしながら私自身勉強になりましたし、この10年間は持続可能やSDGsというものが共通項として認知されたような中でございました。これからはウェルビーイングという言葉が共通語として出てくる、青年経済人が集まっている団体でございますので、そういった部分を勉強しながら10年間、勇気と情熱を持ってウェルビーイングな社会を築き上げるため、我々としても総合計画を勉強させていただきながら、引き続き活動させていただきたいと思っておりますので、御尽力、御協力、御理解いただきますことをお願いいたします。ありがとうございました。

委員

政策企画課をはじめ市役所の皆さんに、調整いただいた結果がこの計画だと思っております。一市民として市が実際どんなことをしているのかとか、どんな思いで実際の仕事をしているのかというところを見ようとしていなかったというところを反省する機会にもなりました。市民から市役所の皆さんに、実際の仕事の内容を聞かせていただくというところは今までなかったものですから、これを機会に市役所の方々の普段の仕事とか思ってらっしゃることとかが市民に伝わるように、私も一市民として応援していきたいと思った次第です。今回、計画ができたのですけども、コロナウィルスが発生した時のように大きな社会的な変化や市民のニーズの変化が起こる可能性がある

と思っております。なので、計画は計画として、今後柔軟に変更する部分ですとか、改善する部分が出ましたら、そこは市の考えで進めていただければなと思った次第です。2年間ありがとうございました。

委員

これを作っていた市役所の関係課の皆さんには苦労をお掛けしていると思っております。教育の分野から申し上げますと、今後10年間の計画の中に市内の高校と産業界が連携をしていくことがあります。これは非常に大事なことなので、我々高校側も、県立高校、私立高校含めて、いかに地元に貢献できるかを1つの視点にして考えていかなければならぬと思いました。今、大学に行く割合が非常に多くなっておりまして、ほとんどが県外に行ってしまうという傾向があるかと思います。ただ、この頃変わってきたのは、県外の大学に行っても地元に戻ってきたいという生徒が増えてきているという現状がありますので、魅力のあるまちづくりをしていただきて、若者たちが県外に進学したとしても戻って来られる、または、県外に就職してもその後またUターンで戻って来られるまちにいかなければならぬのではないかと思っております。こどもの数が減ってきてるので、これから高校教育も非常に多難な時代を迎えるかと思います。いろいろな施策をしながら我々もやっていますけども、思いどおりに定員が満たないこともあります。さらに、市長が目指している中高一貫教育等についても、いろいろな意見があったようですから、それを踏まえながら適宜適切な計画等をしていただければと思いますのでよろしくお願ひします。1年間ありがとうございました。

委員

あらゆる方面からの大量の資料やデータによって、基本構想の将来像として具体的で理解しやすく、事務局の皆さんの苦労には感銘いたしております。これを機に市民の皆さんに発信、周知し、1人でも多くの方々に理解、協力をいただいて、1人では何もできず何も変わらないことも、一人ひとりの市民の皆さんのが集結すれば、今回の基本構想実現への一歩となることを実感しております。私は米沢に生まれて一歩も出たこともなく、ずっと米沢で育ててもらいました。こんな私が委員となって米沢を見直す機会を与えていただきまして感謝しております。これからも微力ではありますが、協力させていただきます。皆さんありがとうございました。

委員

私たちのまちである米沢市、米沢の未来を担う総合計画の審議会に参加し、様々な意見を反映していただきながら、地域の魅力や課題を見つめた上で、誰もが安心して暮らせる持続可能な米沢を目指す計画になったことは、委員として嬉しく思っております。特に、高齢化や人口減少といった現実的な課題に対して、福祉、子育て、産業振興、防災等、多角的な視点から取組がなされている本計画は、米沢の将来への強い思いと意志が込められていると思っています。また、市民の協働や若い世代の声を反映していく仕組みが計画に盛り込まれている点は、米沢のまちづくりに自分事として関わっている、或いは関わってもらえる可能性を示していると思っています。米沢は今大きな岐路に立っているように思います。そんな時の道しるべとなるのが、総合計画になると思っています。まちの発展につなげていくためには市民と行政が一体となって、米沢という地域をより良くする努力を重ねていくことが大切だと考えているところです。私自身は教育分野に携わるものとして、米沢で育ったことに誇りを持ち、場所はどこであれ米沢に思いを馳せ、貢献したいと考えるような郷土愛が溢れるおしょうしなの心と、予測困難な時代でもたくましく生き抜いていくためのがってしない気持ちを持ち合わせ

たことの育成に微力ながら力を尽くしていきたいと考えているところです。市当局のこれまでの苦労に感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員

総合計画の会議に参加させていただいて勉強になりました。ひと・なりわい・くらしを重点プロジェクトとして幅広い分野の方々の考えを聞かせていただきました。健康、医療、福祉、教育、産業、観光、防災、この他もたくさんの分野の方々のまちづくりに向けた考え方を聞かせていただくことで、今まで知りえなかつたことに対して感じることができました。今までは自分の知らないことは自分以外の誰かがやれば良いという考え方を持っていたことはあったかもしません。人がやったことに反発するのは簡単なことですが、そこからは何も生まれないことも知っています。こういう時にはどうすればという気持ちが切り替えられた会議でした。どのような意見や考えにも真剣に考えていただいたことに感謝しております。保育園は数年前に待機児童とか言われ、保育園に入れないというお子さんがたくさんいたのですけれども、現在では定員割れで新年度を迎える園も少なくありません。出生数の低下をひしひしと実感しているところです。安心してこどもを産み育てることができる、米沢を一度離れて戻って住み続けたいまちづくりを望んでいます。将来米沢の人口が保たれて、地域の幸福と自分の幸せが普通以上に感じられることを願って信じて、私はここに住み続けたいと思っております。今までありがとうございました。

委員

表紙にもあります「よねざわしあわせビジョン」ですか、「しあわせ 循環 学園都市・よねざわ」は良いネーミングだと思っているところです。我々は町内会ですか地区ですか様々な団体の方々とお話しする機会があるのですけど、米沢は人と人との助け合っていることが多いと言われているところがあつて、自分も良いところで住んでいると思って実感をしているところです。今後も総合計画を基に、市とも連携をとらせていただきながら、様々な企業、団体の皆様とも連携をとらせていただきながら、米沢が安心して暮らせるまちになるように、我々も頑張っていきたいと思ったところでございます。計画に携わらせていただいてありがとうございました。

委員

始めに、自分の健康を害して1年間欠席をさせていただきました。それから、9日に行われるベーダー駅伝は熊の関係で選手に危険が及ぶということで、今回は休むということを決定させていただきました。公共施設等総合管理計画の中でもいろいろと計画されているわけですが、施設の老朽化が課題です。それと今回雨の中の花火でしたが、グラウンドは良いのですけども、後始末も大変な中でやっていただきましたが、2日後の県大会を予定していたものが駄目になりました。旧5市と言われる中で、センターのスコアボードが電光掲示板になつてないというのは米沢だけ、手差しでやっているのは米沢だけで、それも老朽化して錆びて枠が壊れてしまっているというような状態であります。市長も直に感じていただいているわけですけども、他に誇れるグラウンド、体育館、プールなど、こどもたちに夢と希望を与えてもらいたい。また、スポーツは市民を1つにする、1つに盛り上げる。だいぶ経ましたが、米沢工業高校が甲子園出た時の盛り上がりがすごかったです。今は米沢中央高校の女子のバレーが強いですので、市民で盛り上げてまいりたいと思っております。よろしくお願ひします。

委員

町内会の会長、町内会の自主防災会の会長、地区の防災会連絡協議会会長、市の防災会議委員、県の自主防災のアドバイザーとして、防災に携わら

せていただいて、約20年になります。そのようなことを踏まえながら、私の思うことをお話させていただいて、一部取り上げていただいたりしながら計画ができあがりました。素晴らしいものができるあがったと考えております。ただ、基本計画ということで、これからが非常に大事ではないかと思います。防災につきましても、米沢の場合は災害が少ない。良いことなのですけども、逆に市民の危機意識が低いことにつながってきておりますし、また、災害の経験とか知見が少ないとことにつながってきているのではないか。現状を考えたとき、いつ起きるか分からぬ災害に対して備えておけば安心に暮らせるということを市民へ分かっていただく形の勉強会であるとか、住み良いまちづくり、安心安全なまちづくりにつなげていける具体的な実施計画をどう作っていくかが重要になってくる段階ではないかと考えております。皆様の話を聞くと、何か災害があった時にみんなで助け合うとおっしゃいます。しかし、実際どうやって助け合えば良いかとなりますので、具体的な助け合いの方法をみんなで勉強する。町内会そのものが大変な状況になっている中で、町内会のあり方であるとか、町内会活動で一番大切な安全安心に暮らせる活動のための防災活動、1つのモデルを作りながら、みんなで米沢市、全町内会漏れなく勉強をやっていく。そして、何かあった場合にはみんなで助け合う。そういうまちづくりになれば良いのではないかと考えております。そのためにどうやって自分で備えておくかということも具体的に話しながら、みんなでどう備えるかという勉強会をどのようにやっていくかが大切だと思いますので、実施計画に盛り込んでいただく。私もできることをやっていくつもりでございますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

委員

市役所の皆さんからたたき台をいただいたて、我々の方でいろいろな専門的な知識を含めて、お話させていただいたのだろうと思っています。第1回目の時にお話ししましたが、5年前も審議会に参加させていただいて感じているところがいくつかあります。まず1つが10年計画なので、5年後ぐらいに見直しというか、世の中の流れがどんどん進んでいますから内容の変更もありかと思いますので、行っていただきたいことと、あと、具体的な政策というかアクションプランという部分で練り上げられているところかと思います。基本計画を市民の方々は見るかもしれません、具体的な話は見る機会があんまりないと思われます。その辺の発表というか手法でもよろしいかとは思うのですが、この部課はこういうことをやっていきますというPRをしていただけるとよろしいのではないかと感じているところです。10年後、世の中がどのように変わっているかも全く分からぬ状況ですが、一歩でも近付けるようにお手伝いしていきたいと思いますし、また、自分の反省点で言えば、会議の場で経済的なお話、商業的なお話をほとんどしてこなかつたかもしれません。そこは後で話をしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

委員

9回にわたる審議会の開催ということで、事務局の皆さん、そして委員の皆さんお疲れ様でございました。私も普段関わらない分野の委員の方のお話などもお聞きできて勉強になりましたし、今回、パブリック・コメントで、30者121件の意見ということで資料も読ませていただきまして、市民の方の今後10年間の米沢の方向性について、関心を持っていらっしゃることを感じたところでございます。商工会議所は市内で商売をしている事業所の皆様への支援ということで日々行っていますが、市内で商売をされている方もこ

の5年間で約400事業所減っております。人口減少とともに、商売をされている方もどんどん減っているということで、今後10年間は急激な下降線ではなくて、横ばいまたは緩やかな曲線で、会議所でも今後創業支援、事業承継、雇用面、そして、若者が地元に残っていただく取組を行っていきたいと考えておりますし、そういうこともビジョンに盛り込まれておりますので、産業面での支援を一緒に引き続き行っていきたいと思います。そして、会長には毎回いろいろな意見を取りまとめていただきまして、スムーズに進行していただきまして、何もお手伝いすることはできなかつたですが、ありがとうございました。

会長

まず委員の皆様に感謝を申し上げたいと思います。20名の委員の皆様に2年間議論いただきまして、ようやく答申ができたということで安堵しております。こういった審議会とか出ると、意見が全然出なくてシーンとしてしまっていることが一番困ったりするのですけど、こちらの審議会は全く心配がなくて、毎回たくさんの意見をいただきながら議論ができたというところで感謝申し上げたいと思います。今回の答申を読み直しまして、印象に残っていることが1つあります。それは、こういう組織とか、こういう市とかの将来をどうしようという話になると、どうしても大きな問題が表に出てきて、例えば、人口減をどうするかとか、産業どうやって盛んにしていくかとか、どうしても大きなこと、そういう数値目標に目が行きがちだと思います。今回の答申でもそういう内容は盛り込まれていて議論はされています。そこに加えて、一人ひとりの市民の皆さんに幸せになっていただく。まさにウェルビーイングな状態で、生涯を過ごしていただくのはどうすれば良いのかという意見、そういう観点からの意見が委員の皆様から出していただいて、幸せになっていただくにはどうすれば良いかというような視点からの施策が1つ1つの数値目標や政策の中に盛り込まれていると思います。今回の委員の皆様にたくさんの御意見をいただいたお陰だと思っておりまして、感謝申し上げたいと思っているところでございます。もう1つ、市役所の皆さん、2年間ありがとうございました。私もこういう大きな審議会に参加させていただくことも初めてでございますし、初めてこういう仕事をさせていただいたのですけれど、毎回大変な調査をされて、市役所でもたくさんの議論をされた上で審議会に出していただいて、さらに、審議会で出された提案について、真摯にアイデアを出していただいて、答申に盛り込んでいただいたと思っております。この後、計画から実施に移っていくことになると思っております。ここに書かれている一人ひとりが幸せになる米沢市の実現を1つ1つの政策を通してしていくことになると思います。私は一市民としてできるだけのお手伝いを今後もさせていただければ嬉しいと思っているところでございます。皆さんありがとうございました。

【5 答申】

(1) 答申

会長から市長に答申

(2) 市長あいさつ

本日は会長含め、20名の審議会の委員の皆様に立派な答申案を作成いただき、計画書をいただきました。しっかりと実行してまいりたいと思います。改めまして、2年間にわたり議論を重ね、また、知恵を出し、様々な御指摘をいただき、答申をまとめていただきまし

た。それぞれの皆様に心から感謝、お礼を申し上げます。私が市長に就任して数ヶ月後に審議会ができたわけがありました。まさにこれから市政の根幹を作る審議会として、時々私も参加をさせていただきました。皆様の思い、今日の御意見も含めて受け止めたいと思います。米沢市は明治22年、今年で市制施行136年目を迎え、日本で最も古い市の一つであります。こういった総合計画ですと、今回10回目となるそうであります。私は改めて思うのですけど、これまでの9回目と今回の10回目と決定的に違うことが1つあります。それはこれまでの9回は人口増加面であったということです。しかし、この10回目の今期計画は人口がまさに坂道を転げ落ちるように減少し続ける。全国的な問題であります。本市においてもそうであります。これまでの9回と根底が変わるということであります。その意味では、暮らしの土台が代わる中での長期計画でありますから、極めて、その策定においては、事務方も悶絶しながら作ったでしょうし、私もそうでございましたし、委員の皆さんもそうではないかと思うわけであります。しかし、人口が急減するという中での計画でありますから、ある意味非常に挑戦的という、チャレンジングな計画だと思っておりまして、この中身を実行し、目標を達成する。逆に言うと、これまで、人口がやや増えながら失われた30年などと言われてきた世の中でありますけれど、逆にこれからの10年間は計画を実行し、また、適切に対応すれば米沢復活の10年になるという思いで受け止めたいと考えているところでございます。ここにいる委員の皆様、職員、マスコミの方々も含めて、米沢の底力については誰もが強い確信と自信を持っているところだろうと思っているわけでして、米沢市の主役は市民一人ひとりであります。この主役たる市民の方々が、思いを1つ、そして、市役所としては市民の役に立つ所と書いて市役所というわけですから、市役所が本業を果たし、全力を尽くして、市民の皆様とともに計画を動かせられれば必ずウェルビーイング、一人ひとりが幸せを実感できるふるさとができあがることでございます。今後とも御助言、御指導いただきますようお願い申し上げまして、重ねて、2年間の御協力に感謝を申し上げまして、お礼の言葉といたします。ありがとうございました。

【6 閉会】

省略